



学校教育目標 「気づき、考え、実行する児童の育成」
「進んで学ぶ」 「自分も友達も大切にする」 「元気いっぱい何事にもチャレンジ」

2 学期終業式

本日、2024年度の 2 学期の終業式を迎えました。あっという間に時が駆け抜けていき、今年度の 2/3が終わったのです。毎年、新しい児童や生徒と出会い、元気に学ぶ姿を見ながら、がんばる力をもらい、教育に携わる仕事に就けたことを感謝しています。この間まで泣いていた子どもが、今ではリーダーとして活躍できるようになっている。自分の気持ちを伝えられなかった子どもが、堂々と発言できるようになっている。文句が先に出ていた子どもが、先生の言うことに納得し、わがままを言っている子どもに注意することができるようになっている。等々、最近になってたくさんの発見がありました。

私たち大人は、子どもたちの歩みを一步離れたところから見守っています。様々な刺激を準備しても、何が、子どもの成長のきっかけや力につながるのか、完璧に知ることはできません。それは、一人一人が異なる人間であり、育ってきた環境や興味関心も異なるからです。ただ、私たち人間は言葉を使い言葉でコミュニケーションをとる生き物です。言葉を学び、学んだ言葉で考え、人と関わっていきます。さりげなく使った言葉でも、人の人生に影響を及ぼすことは多々あります。先日参加したPTA県大会において、私たち大人が子どもに“語る言葉”は大いに人生を切り拓く力につながっていくという話を聞きました（講師：学校法人佐賀清和学園 理事長 富吉 賢太郎様「大人は言葉を語る人であれ」）。

保護者の皆さま、ご家庭でお子さんと話す時間がとれていますか。父親として、母親として、これまでの苦労や失敗、成功へのカギとなったこと、子どもへの思い、夢や希望、激励などたくさんあると思います。これまでを振り返りながらお子さんに語る時間を作っていただけないでしょうか。その言葉には、大好きな自分の親の気持ちがこもっており、人生において心の支えとなるものがきっとあると思います。

言葉といえば、以前「子どもが育つ魔法の言葉 ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス著 石井千春 訳」という本が出版され、多くの方々に読まれてきました。改めて読んでみても心にストンと入ってくる言葉があります。冒頭に“子は親の鏡”という詩が載っていますので、少し、紹介しておきます。

本でお読みください



だと思えるようになる

喜びや悲しみ、生活での様々な場面での思いは、きっと言葉で語られると思います。それが話し言葉であったり、書き言葉であったりするかもしれませんが、言葉で語られると思います。大切なお子さんへの愛情ある言葉かけて、子どもを育てていってください。

○ JRC千葉県の代表との交流に向けて

① 5年生の事前取組

毎年、JRC千葉県の代表者が佐賀県に来校されます。佐野常民先生の生誕の土地である中川副小学校には佐野先生の思いを受け継いで学校生活を行っている中小っ子がいるということで、本校での交流が行われます。

今年度は、令和7年2月14日に8名の小学生が来校され、本校の5年生と交流をします。そこで、日本赤十字佐賀県支部から秋山先生が来てくださり、交流について説明してくださいました。交流が始まったころは、川副の4小が集まって交流が行われていたこと、途中うまく交流ができにくくなったこと、何とかして交流を継続したことなど話されました。

5年生は、どんなことを話したら、JRC千葉県代表の人が中川副小の活動を理解してくれて、楽しい時間を過ごせるのかを考え始めました。本番に向けて、スタートしたばかりです。話し合いを進め準備していくことと思います。いい会になることを期待しています。

② 6年生の事前取組

6年生は、千葉県JRC代表に、歴史館で子どもガイドを実施します。今年度は初めてのガイドとなります。そこで、講師として佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館の館長である佐幸 順平様に来校いただき、まずは佐野常民先生について話していただき、その後“博愛とは”に目を向けて子どもたちが考える時間を取ってくださいました。自分たちの身近なところで博愛にあたることは何か考えることができていました。12月20日には、改めて歴史館の見学にも行き、ガイドとして何をどう話したらいいか学びました。どんな子どもガイドになるか楽しみです。6年生よろしくお願いします。



○ ありがとう集会で感謝の気持ちを伝えました

今年も、地域の皆さんにたくさん助けられ、支えられ、見守られながら日々の生活や学習を進めることができました。「ありがとうございます」と気持ちを伝えたくても、なかなか機会がないままに過ごしてきた子どもたちです。そこで、運営委員会の子どもたちがありがとう集会を企画し、お世話になった方々を招待しました。

たくさんの地域の皆様に集まっていただき、直接、感謝の気持ちを歌や言葉やお手紙で伝えることができました。近くに行ったら、恥ずかしくてうまく伝えられなかった子どももいましたが、その思いはたくさん持っています。お世話になり、ありがとうございました。学校生活は、まだまだ続きますので、今後ともよろしくお願いいたします。寒い季節になります。皆さま、体に気を付けて過ごしてください。



このQRコードからHP
にアクセスできます。

